

皆さんを笑顔でおもてなし

～ガイド活動出発式～

5月1日(木)、地獄谷やその周辺の案内役を務める『登別市観光ボランティアガイド会』の平成20年度ガイド活動出発式が、地獄谷展望台で行われました。

ガイド会は、毎年5月から10月まで、そろいのはんと帽子、ワッペンを身に付け、地獄谷を訪れる方に大湯沼、大正地獄、大湯沼川天然足湯の案内のほか、写真の撮影など、温かいおもてなしをしています。

この日の出発式では、会長の相澤英男さんが、「健康に気を付けて今年もがんばりましょう」とあいさつ。また、観光振興に貢献している団体として、日本観光協会北海道支部長表彰を受賞したことを報告しました。

出発式後、会員はごみ拾いをしながら、ガイドをする遊歩道の確認をしていました。

活動期間中は、悪天候の日を除き、10時から15時（最終受付14時30分）まで、会員46人が交代で地獄谷展望台に待機しています。

去年は、約5,600人の方を案内しました。



雨が降る中、元気に完走



～第33回登子連こいのぼりマラソン大会～

5月5日(月)、市営陸上競技場を主会場に『第33回登子連こいのぼりマラソン大会』（登別市子ども会育成連絡協議会主催）が行われました。

この大会は、健康づくりを目的に、自分のペースでマラソンを楽しんでもらおうと、毎年5月5日の『子どもの日』に行われています。

33回目を迎えた今年は、雨が降る中、3・5・7キロの各コースに約130人が参加。小学生女子3キロの部で優勝した幌別小学校6年生の羽山かれんさんは「走ることが大好きです。少し疲れたけど楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

花のトンネルを整備しよう

～のぼりべつ桜ざか一期一宴～

5月10日(土)・11日(日)の2日間、中登別町の桜ざか駐車公園を案内所に『のぼりべつ桜ざか一期一宴』（同実行委員会主催）が行われました。

この催しは、『花のトンネル』で親しまれているサクラ並木のPRや、枯れたサクラを整備するための寄付を募ることを目的に開催されました。

3回目を迎えた今年は、サクラの見所や飲食店などで使える『とくとくクーポン』が付いたマップの配布、桜茶の無料提供、のぼりべつ文化交流館『カント・レラ』と案内所でスタンプを押す、お花見ウォーキングが行われました。

お花見ウォーキングに参加して賞品の温泉入浴券をもらった参加者は「楽しかったです。また来年も参加したいです」と話していました。

今年は、サクラの開花が例年より早かったこともあり、サクラの見ごろはすでに過ぎていましたが、訪れた方は散りいくサクラを名残惜しそうに見ていました。

